



令和2年度 No. 11

駒岡小学校だより

3月号

ありがとうございました

校長 中山 正之

この冬は雪を見ることがほとんどなく、2月も暖かな日が多かったように思います。3月を迎え学校は年度末に向けた活動が始まっています。そういえば、今年の桜はどの行事の頃に咲くのだろうかと思ひになり始めています。

2月19日、6年生の感謝と成長の会を行いました。今回はできるだけ多くの保護者の皆様にご参観いただけるように、感染対策を講じて実施しました。当日は皆様のご協力によりスムーズに会を進めることができました。ありがとうございました。

この会の正確な名称は「6年間の全力と輝きを見せつけろ！感謝と成長の会」といいます。6年間の成長と、支えてくださった方々への感謝の思いを伝えることをねらいに、学年全員で企画し、運営されました。内容は大きく三つのプログラムから構成されています。まず各クラスによる成長発表「見せつけよう！全力の成長」では、ダンスや表現の実演、自分たちで制作した動画や夢をテーマとしたメッセージの発表、そして英語劇とバラエティに富んだ内容の出し物を見せてくれました。続いて運動会演技発表「見せつけよう！全力の輝きプレイバック」では、この学年がこれまでに運動会で披露してきた6年間の表現をダイジェストで演じてくれました。そして全員による群読「伝えよう！心からの成長と感謝『ありがとう』」で、家族、学校、友達への感謝の気持ちを、呼びかけの形式で伝えてくれました。どのプログラムも自分達の成長した姿と小学校生活に対する感謝の気持ちを、時にユーモラスに時に感動的に、そして何より素直に表現してくれました。見ている私たちは思わず吹き出したり、知らないうちに涙が溢れてしまったりと、感情が忙しく動き回るひとときでしたが、どこをとっても6年生の子ども達の思いが、てらいなくストレートに伝わってきました。終わった後は、本当に温かい気持ちになりました。

そして、内容もさることながら観ていて感心したのは、子ども達の発表の方法でした。身体表現の重視、動画の制作、録音した台詞に合わせた演技など、コロナ禍の今、発声に頼らずにできることを工夫した様子が随所に見られました。おそらく子ども達と先生達とで、保護者の方々に観ていただくためにどうすれば良いかを真剣に考えた結果が、この日の発表だったのだと思います。6年生の学年目標である「全力～何事にも熱く取り組み輝こう～」に込められた全員の思いを形にし、見せてくれたように私には感じられました。6年生の子ども達の残りの学校生活は20日を切りました。卒業の日まで、どうか笑顔で過ごしてほしいものです。

この一年間は、どの学年の子ども達にとっても制約の多い窮屈な期間でした。しかしそうした中でもそれぞれに精一杯努力してきました。1年生は「キラキラ 1年生」、2年生は「たんぽぽ～たすけあってみんなかっこよく ん～とがんばる ぽかぽかあったかハートの2年生～」、3年生は「みんなであつなろう5つのわ～チャレンジ・協力・あいさつ・なかよし・助け合い～」、4年生は「えんぴつ～笑顔 団結 人のことを想う 強い心～」、5年生は「銀河～団結・努力・積極的～」そして7組は「7くみのこきゅう～仲良く優しく助け合い 全力協力笑顔～」と学年や学級の目標を持ち、日々の学校生活を豊かにしようと励んできました。また、子ども達の真摯な気持ちに応えようと教職員達も努力を重ねてきました。この一年で得た経験を、まだ当面は続くであろうコロナ禍を克服するためにこれからも生かしていきたいと思ひます。

社会全体が苦しむ中で、保護者の皆様、後援会の皆様、地域の皆様にはこれまでと変わらない多くのご支援やご協力をいただきました。おかげさまで私達は安全に教育活動を進めることができました。来年度も皆様とともに歩んでいけると願っています。一年間、本当にありがとうございました。

